

# RYOBI®

## バイスドリル

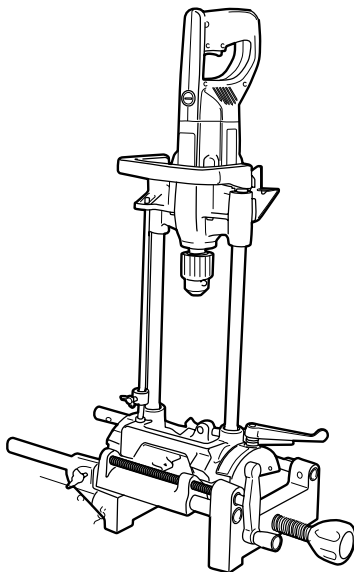
### VSD-301RS

### VSD-311RS

## 取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、本機的能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。

また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。



### もくじ

- ・安全上のご注意 ..... 1 ~ 4
- ・各部の名称・仕様 ..... 5
- ・付属品・用途・別販売品 ..... 5
- ・操作方法 ..... 6 ~ 10
- ・保守と点検 ..... 10 ~ 11



二重絶縁

このたびは、リョーパイストリルをお買い上げいただきありがとうございます。  
安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読みください。

使用上の注意事項、本機的能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。

### 注意文の「△警告」、「△注意」の意味について

ご使用上の注意事項は「△警告」と「△注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

△警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

△注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

「△警告」・「△注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「(注)」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

### 安全上のご注意

- ・火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ・お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

#### 警 告

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
  - ・ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
  - ・電動工具は、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
  - ・作業場は十分に明るくしてください。
  - ・可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 感電に注意してください。
  - ・電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
4. 子供を近づけないでください。
  - ・作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
  - ・作業員以外、作業場へ近づけないでください。
5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
  - ・乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。

6. 無理に使用しないでください。
  - ・安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
7. 作業に合った電動工具を使用してください。
  - ・小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
  - ・指定された用途以外に使用しないでください。
8. きちんとした服装で作業してください。
  - ・だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻込まれる恐れがありますので着用しないでください。
  - ・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑止めのついた履物の使用をお勧めします。
  - ・長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
9. 保護めがねを使用してください。
  - ・作業時は、保護めがねを使用してください。また粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
10. 防音保護具を着用してください。
  - ・騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。
11. コードを乱暴に扱わないでください。
  - ・コードを持って電動工具を運んだり、コードを引張ってコンセントから抜かないでください。
  - ・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
12. 加工する物をしっかりと固定してください。
  - ・加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
13. 無理な姿勢で作業をしないでください。
  - ・常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
14. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
  - ・安全に能率よく作業をしていただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
  - ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
  - ・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所に修理を依頼してください。
  - ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
  - ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスがつかないようにしてください。
15. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
  - ・使用しない、または修理する場合。
  - ・刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
  - ・その他危険が予想される場合。
16. 調節キーやレンチなどは、必ず取外してください。
  - ・電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取外してあることを確認してください。



## 警告

17. 不意な始動は避けてください。
  - ・電源につないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。
  - ・プラグを電源にさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
18. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
  - ・屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
19. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
  - ・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周囲の状況など十分注意して慎重に作業してください。
  - ・常識を働かせてください。
  - ・疲れている場合は、使用しないでください。
20. 損傷した部品がないか点検してください。
  - ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
  - ・可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
  - ・損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所で修理を行なってください。スイッチが故障した場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所で修理を行なってください。
  - ・スイッチで始動および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。
21. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
  - ・本取扱説明書およびリョービパワーツールカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがありますので使用しないでください。
22. 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。
  - ・本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
  - ・修理は、必ずお買上げの販売店またはリョービ販売営業所にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

### 騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

## バイスドリルご使用に際して

先に電気工具としての共通の警告・注意事項を述べましたが、バイスドリルをご使用の際には、さらにつぎに述べる警告・注意事項を守ってください。

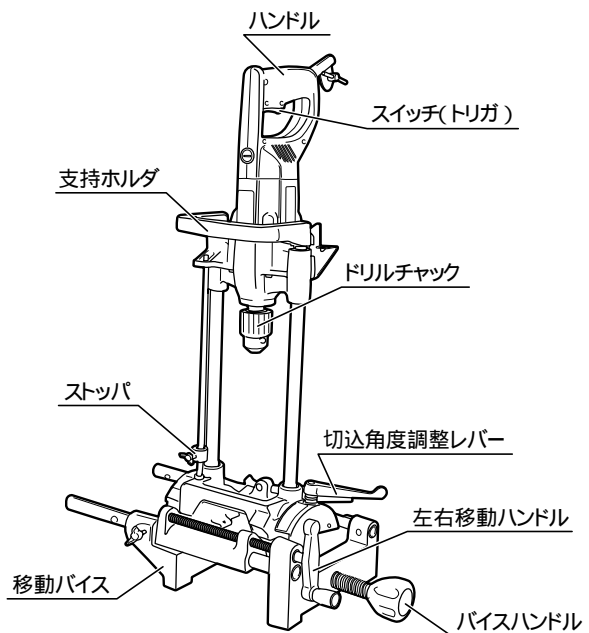
### 警告

1. 使用電圧は、必ず銘板に表示してある電圧でご使用ください。
  - ・低い電圧で使用しますと力不足となり、表示を超える電圧で使用しますと、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. 刃物類（座掘カッタ、キリなど）は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
  - ・確実にないと外れたりし、けがの原因になります。
3. 刃物類（座掘カッタ、キリなど）の取付け、取外しの際は、必ずスイッチを切り、プラグを電源より外してください。
  - ・不意な作動による、けがの原因になります。
4. 運転中は刃物類（座掘カッタ、キリなど）や可動部には絶対に手を触れないでください。
  - ・けがの原因になります。
5. 不安定な場所での作業はしないでください。又、バイスで材料をしっかりと締付け本体を安定させ、確実に保持して作業を行なってください。
  - ・不安定な状態で作業をしますと、けがの原因になります。
6. 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音が出たときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買上げの販売店、またはリョービ販売営業所に点検・修理を依頼してください。
  - ・そのまま使用していると、けがの原因になります。
7. 誤って落としたり、ぶつけたときは、キリや機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
  - ・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
8. 加工する際には身体の一部が刃物の下にあることを確認してください。
9. 本体の持運びの際は、必ずスイッチを切りプラグを電源から外し、支持ホルダを持って移動してください。ハンドルを持っての持運びは絶対にしないでください。
  - ・誤ってスイッチを引いた場合、けがの原因になります。

### 注意

1. 使用中は、軍手など巻込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
  - ・回転部に巻込まれ、けがの原因になります。
2. 被削材に釘などの異物がないことを確認してください。
  - ・刃物類（座掘カッタ、キリなど）が破損し、けがの原因になります。
3. 刃物類（座掘カッタ、キリなど）に、ヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
  - ・刃物類が破損し、けがの原因になります。
4. 貫通穴をあける場合、キリが地面に当たらないよう加工材をしっかりと台の上に置いてください。
5. 能力を超えた作業は事故のもとです。刃物類（座掘カッタ、キリなど）は常によい切れ味にしておき、回転数を上げた後、加工をはじめてください。
  - ・安全で能率よく、きれいな仕上面が得られます。

## 各部の名称



## 仕様

		VSD-301RS	VSD-311RS
電	源	単相・交流 100V 50/60Hz	
電	流	8.0A	
消費電力		710W	
無負荷回転数		(no) 1,000min. <sup>-1</sup>	
上下ストローク		250mm	
穴あけ能力	木工(直径)	30mm	
	深さ(キリ)	185mm	
	深さ(座掘)	37mm	
穴あけ角度調節範囲		90～45度	
バイス能力		60～243mm	60～365mm
左右移動量		160mm	282mm
機体寸法		458～520×278×714mm (幅)(奥行)(高さ)	580～642×278×714mm (幅)(奥行)(高さ)
質量		9.0kg	9.5kg
絶縁方式		二重絶縁	

## 付属品

- ・チャックハンドル…………… 1
- ・両口スパナ(8×10)……… 1

## 用途

- ・木材への穴あけおよび座堀加工

## 別販売品

- ・超硬座堀カッタセット(5分用、6分用)  
5分用 座堀カッタ径60×座掘用木工キリ径15×長さ250mm  
6分用 座堀カッタ径60×座掘用木工キリ径18×長さ250mm
- ・超硬座堀カッタ(径60mm)
- ・座掘用木工キリ(5分用、6分用)

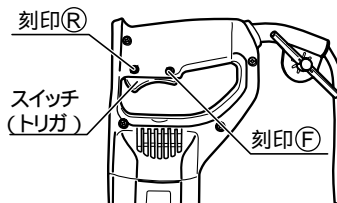
# 操作方法

## スイッチ

### ⚠ 警告

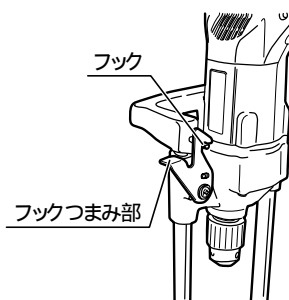
- ・使用電源は必ず銘板に表示してある電圧でご使用ください。低い電圧で使用しますと力不足となり、表示を超える電圧で使用しますと、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

- ・スイッチは正、逆転スイッチです。ハンドルの刻印<sup>®</sup>側にトリガを引いた時には正転（右回転）し、<sup>®</sup>側に引いた時は逆回転（左回転）します。
- ・スイッチは、指を離すと瞬時にブレーキがかかり、回転がすばやく停止する安全機構を採用しております。



## フック

- ・ドリル本体部分を固定するため本機にはフックが付いています。刃物の交換、本機の運搬などの際にはフックを掛けてください。フックを外す際は、ハンドルを持ちドリルを少し上げた状態でフックのつまみを押して外してください。

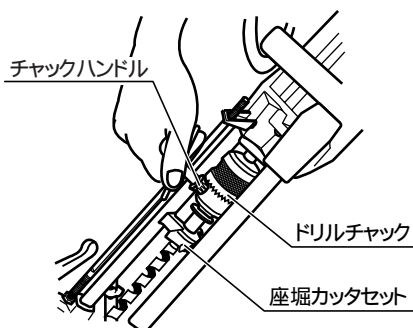


## 刃物（超硬座堀カッタセット）の取付け

### ⚠ 警告

- ・刃物類（座堀カッタ、キリなど）は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。確実にないと外れたりし、けがの原因になります。
- ・刃物類（座堀カッタ、キリなど）の取付け、取外しの際は、必ずスイッチを切りプラグを電源から外しておいてください。不意な作動によるけがの原因になります。

- ・チャックハンドルをドリルチャック部の穴にさし込み、左に回してドリルチャックのツメを広げます。次に座堀カッタセットをツメの部分にさし込み、チャックハンドルを時計の回転方向にまわして取付けます。この時、ドリルチャックの3つの穴にチャックハンドルをさし替え締付けてください。座堀カッタセットを取付けたら使用前にドリルを空転させキリの先端がブレない事を確認してください。ブレがある時は、もう一度取付け直してください。

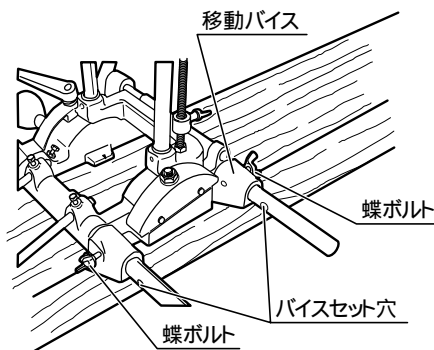


## バイスの使用と穴あけ位置合わせ

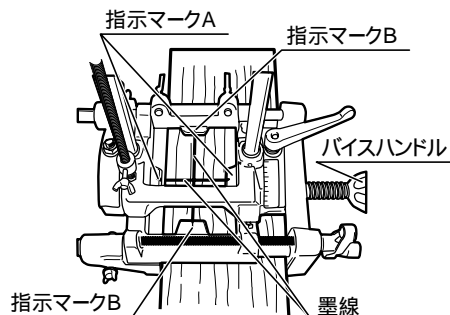
・加工材の幅に合わせ、移動バイスをセットします。

- 2本の蝶ボルトを外し加工材の幅に合ったバイスセット穴に移動バイスを合わせ、2本の蝶ボルト締付けます。

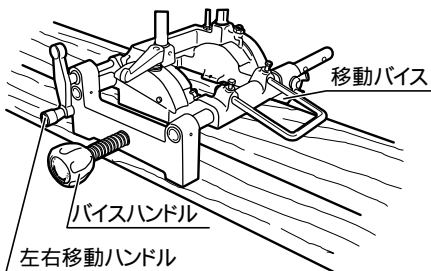
モデル (内側から) バイスセット穴	VSD-301RS (mm)	VSD-311RS (mm)
1	60 ~ 120	60 ~ 120
2	120 ~ 180	120 ~ 180
3	180 ~ 243	180 ~ 240
4		240 ~ 300
5		300 ~ 365



- 指示マークA に穴あけ位置の中心を合わせバイスハンドルを締付けてください。



- 左右移動ハンドルで、指示マークB に穴あけ位置の中心を合わせます。

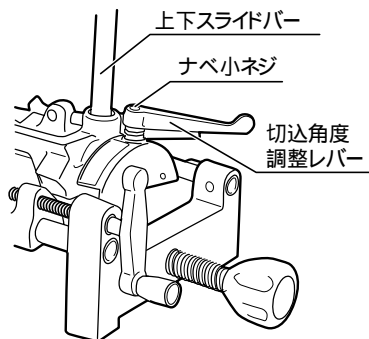
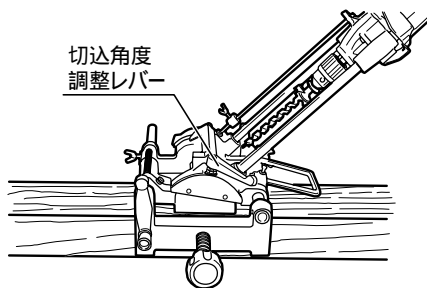




## 切込角度の調整

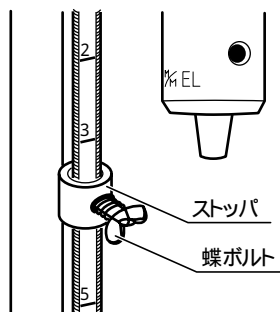
- ・ 切込角度の調整は切込角度調整レバーをゆるめることにより簡単に調整できます。
- ・ 調整後は、切込角度調整レバーを締め本体を確実に固定してください。

(注) 切込角度調整レバー締め付けの際、レバーが上下スライドバーに当たり、確実に締め付けができない場合は、レバーの取付け角度を調節してください。レバーの調節は、上部のナベ小ネジを外し、レバーを一度取外して、角度をかえて付けかえることによって行ないます。



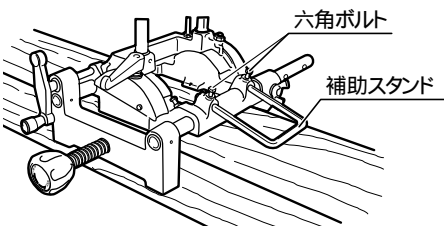
## 穴あけ深さ調節

- ・ 穴あけ深さに合わせてストッパを調節してください。
- ・ 同じ深さの穴をいくつかあける時にストッパをご利用いただくと便利です。



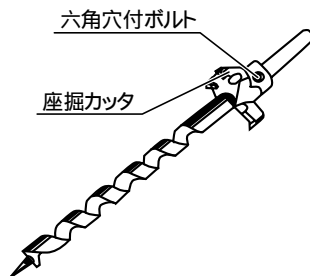
## 補助スタンドについて

- ・ 傾斜穴あけ時に、本体が不安定になることがあります。この場合は補助スタンドをご利用ください。補助スタンドは、2本の六角ボルトをゆるめ、スタンドを出入れして材料表面に当たる位置に調整し、六角ボルトで固定してください。



## 超硬座堀カッタセットについて

- 超硬座堀カッタセットは専用の刃物を使用しています。刃物交換の際にはリョービ純正のカッタセットをご使用ください。座堀カッタまたはキリを交換される場合は、六角穴付ボルトをゆるめれば簡単に交換できます。



## 加工方法

### ⚠ 警告

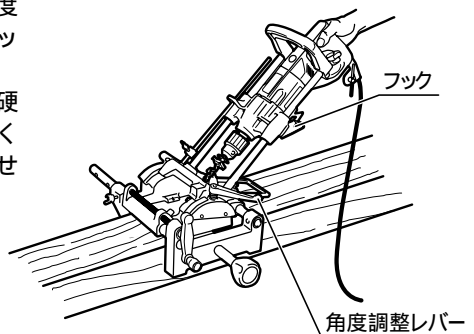
- 運転中は刃物類（座堀カッタ、キリなど）や可動部には絶対に手を触れないでください。けがの原因になります。
- 不安定な場所での作業はしないでください。又、バイスで材料をしっかり締付け本体を安定させ、確実に保持して作業を行ってください。不安定な状態で作業をしますと、けがの原因になります。
- 加工する際には、身体の一部が刃物類（座堀カッタ、キリなど）の下にないことを確認してください。

### ⚠ 注意

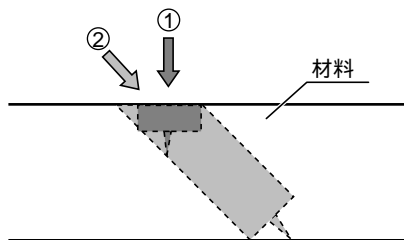
- 使用中は、軍手など巻込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。回転部に巻込まれ、けがの原因になります。
- 被削材に釘などの異物がないことを確認してください。刃物類（座堀カッタ、キリなど）が破損し、けがの原因になります。
- 刃物類（座堀カッタ、キリなど）にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。刃物類が破損し、けがの原因になります。
- 貫通穴をあける場合は、キリが地面に当たらないよう加工材をしっかりした台の上に置いてください。

- 穴あけの中心にバイスドリルをセットします。角度調整レバーをゆるめ、穴あけの角度にドリルの角度を合わせて締付けます。フックを外し、穴あけを始めます。

(注) 切込角度をつけた穴あけには専用の超硬座堀カッタ、または専用キリをご使用ください。通常のキリでは、加工できません。



(注) バイスドリルで傾斜穴あけ時に、キリの逃げにより切込みの送りが重くなることがあります。スムーズな穴あけを行なうために、右図のように先に垂直に深さ10mm程度の下穴をあけた後、角度調整をして穴あけを行なうか、のみを打ってキリの先端が逃げないようにして加工をしてください。



(注) また傾斜切込み時は、本体を下に押付ける方向に力が入り易くなりますので、本体を上には持上げる感じで切込みを行なってください。

## 保守と点検

### ⚠ 警告

- ・ 保守、点検、部品交換などのお手入れの前にスイッチを切り、プラグを必ず電源から抜いてください。けがや感電の原因になります。

### 刃物の交換

- ・ 摩耗したビットをご使用になりますと能率が悪いばかりか、モーターに無理な力をかけることになります。早めに交換してください。

### 各部取付ネジの点検

- ・ ネジなどゆるみがないか確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。

### 使用後の手入れ

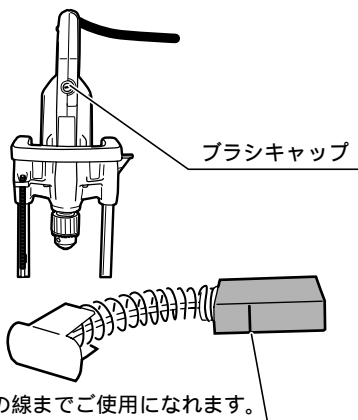
- ・ 油汚れなどをふき取り使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石けん水をつけた布で本体を拭いてください。
- ・ ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためます。また、水洗いは絶対にしないでください。

### 作業後の保管

- ・ 高温にならない乾燥した場所に保管してください。おさまの手の届く範囲や落下の恐れのあるところはさけてください。

## カーボンブラシについて

- ・カーボンブラシは消耗品です。カーボンブラシは全長の1/3(線の入った位置)程度に摩耗しましたら新しいカーボンブラシと交換してください。短くなったカーボンブラシをそのまま使用しますと火花が大きくなりモーター焼損の原因になる場合があります。
- ・カーボンブラシの交換は、ブラシキャップを⊖ドライバで取外して、取出してください。
- ・カーボンブラシは2個1セットです。交換されるときは指定のカーボンブラシを使用し、2個とも交換してください。この時、カーボンブラシがブラシホルダ内でスムーズに動くことを確認してください。



## 修理について

- ・本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買上げの販売店にご用命ください。その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問などご遠慮なくお問い合わせください。

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、ご遠慮なくお買上げの販売店にお問い合わせください。

\* 改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。

**RYOBI**

発売元

リョービ販売株式会社

本社 〒468-8512

名古屋市天白区久方1-145-1

TEL.(052)806-5111 FAX.(052)806-5141